

授業科目 文学	区分・教育内容 基礎分野 人間と生活、社会の理解		
授業担当者 大学からの非常勤講師	開講時期 中期	単位 1 単位	時間数 15 時間
授業の目的 多くの文学的書籍を読解し、鑑賞する能力・感じ方・考え方を深め、感性を豊かにする能力・態度を養う。 授業の目標 <ol style="list-style-type: none"> 1. 文学の一ジャンルである演劇の特質を理解できる。 2. 人間の一生を描いた演劇作品の読解を通じて、人間存在について考察できる。 3. 演劇の表現技法の有用性を理解できる。 			
授業概要 本授業では、ある一人の女性の人生を描いた演劇作品の鑑賞を通じて人間存在に関する考察を深めるとともに、演劇作品の朗読や実演により演劇を実際に体験しながら、このジャンルの特質と楽しさを理解する。 授業計画(進め方) <ol style="list-style-type: none"> 1 回目 はじめに……演劇とはどのような芸術か (柴幸男『反復かつ連続』) 2 回目 演劇が描く世界と人生……ワイルダー『わが町』の世界観とその影響 3 回目 柴幸男『あゆみ』(長編) (1) ……様々な舞台形式と観客の想像力 4 回目 柴幸男『あゆみ』(長編) (2) ……演劇における非言語的表現の効果 5 回目 柴幸男『あゆみ』(長編) (3) ……独特な演劇的「リアリティ」の演出 6 回目 演劇ワークショップ (1) ……エチュードによる演劇コミュニケーション演習 7 回目 演劇ワークショップ (2) ……柴幸男『つくりばなし』を題材にして 			
テキスト 教科書は使用せず、授業で扱う演劇作品の抜粋のコピーを配布する。			
参考書・指定図書 平田オリザ『演劇入門』(講談社、1998年) 柴幸男『あゆみ 完全版 DVD付』(創英社、2011年) ソーントン・ワイルダー『〈1〉わが町』ハヤカワ演劇文庫9(早川書房、2007年)			
評価の方法 授業への参加状況(レスポンス・シート等を含む)と課題レポートにより、総合的に評価する。			